

コミュニティの参加

南アフリカにおける
核廃棄物、ウラン、コミュニティの参加

発表者:
リディア・ピーターセン
南アフリカ・ケープタウン



なぜ参加が重要なのか

- 決定は、人々の土地・健康・生活に影響を与える
- 参加は憲法上の権利である
- 信頼と説明責任を築く
- 環境的・社会的な被害を防ぐ



核燃料のサイクル

- ウラン採掘 → 燃料製造 → エネルギー生成 → 廃棄物処理
- 各段階にリスクと影響がある
- 地域コミュニティは影響を受けるが、多くの場合排除される
- サイクル全体を通じた透明性が求められる



南アフリカにおけるウラン採掘

- 地方の先住民族のコミュニティの近くで行われている
- リスク: 土地劣化、水質汚染、放射線被ばく
- 住民との相談や監視は限定的
- 事前の自由意志に基づく
十分な情報に基づく同意 (FPIC)
が求められる



核廃棄物とヴァールプッツ

- 北ケープ州のヴァールプッツには、低レベル放射性廃棄物が保管
- 人里離れた場所にあるが、観光地
- 将来的にはSMRや新規建設も
- コミュニティは透明性や安全性の保証を求めている



参加とはどのようなものか？

- 早期から継続的に行われる協議
- 先住民族に対する FPIC (事前の自由意志に基づく十分な情報に基づく同意)
- 現地の言語や、誰にでもアクセスできる形式の使用
- コミュニティ主体の監視と意思決定



参加への障壁

- 専門的で難解な内容や専門用語の多さ
- 情報へのアクセスの欠如
- 社会的に周縁化されてきた人々の歴史的な排除
- 制度や開発主体への不信感

事例紹介 — ワイルドコースト

- 有害な開発に対する地域住民の抵抗
- 法的手段の行使と裁判所の判断
- 集団行動で示された力
- ウラン採掘や原子力関連の意思決定における先例をつくった



大学と若者の役割

- 公衆の意識と政策のギャップに関する研究
- 学生が主導するアウトリーチ活動と教育
- 技術的知識とコミュニティのニーズをつなぐ架け橋
- 将来の意思決定者・提言者としての若者



ディスカッション

- 真の「地域の参加」とはどのようなものだろうか
- 誰が、どのように意思決定を行うのか？
- 学生や若者はどのような役割を果たすべきか？



行動への呼びかけ

- もっと学び、読み、参加し、問いかけよう
- 学生グループや地域のNGOに参加しよう
- すべての人を包み込むエネルギー政策を求めて声を上げよう
- 教育と対話を通じて地域コミュニティを力づけよう